

門真市総合計画審議会 第5回審議会 議事録

場 所：門真市役所別館第2会議室

日 時：平成21年10月23日（金） 午後2時～4時

出欠状況：審議会委員（五十音順） 敬称略

第1号委員（市民）

岡本修子・豎月邦治・内藤弘子・野村強起

第2号委員（学識経験者）

植村 興・川勝健志・島 善信・末村祐子・土山重樹・寺前 章・日高哲生・

正木啓子・村田文雄・山本 純・吉松正憲

第3号委員（関係行政機関）

森定一稔（欠）・難波 恭

事務局：門真市総合政策部

部長 北口政昭 次長 稲毛雅夫

企画課長 水野知加子 課長補佐 小野直宏

係員 十河大輔・湯川みずほ・高田賢一

受託業者：株式会社かんこう 馬場明男

1. 開会（事務局）

2. 新任委員の紹介

第3号委員の門真警察署長山口利廣氏が9月末に退職のため、10月1日に門真警察署長に着任された難波恭氏が本審議会委員として就任されたことを紹介

3. 配付資料の確認と審議会成立の確認

配付資料の確認と委員17名中16人の出席があり、過半数以上の出席により本審議会が成立していることを事務局から報告

4. 議事

（以後、会長が議事を進行）

案件1. 門真市第5次総合計画＜基本計画＞（案）に対する部会検討報告について

◇事務局より「門真市第5次総合計画＜基本計画＞（案）に対する部会検討報告書」（第1部会～第3部会）について説明

◇特に、意見はなく、本報告書を第1部会～第3部会の報告に代えることとした。

案件2. 全体会議で審議することとされた検討課題について

◇事務局から「全体会議で審議することとされた検討課題」と総合計画（案）での修正案について説明

(本案に関する意見)

発言者	内 容
委員	「市民の評価点」を修正することは賛成であるが、本日配布の案はすでに修正されたものであるか。
事務局 委員	本日の確認を得て、修正を行いたいので、未だ、修正は行っていない。 基本計画の 22 頁の「2) 公聴活動の充実」の指標に使用されている「施策についての提言等を行う市民組織の創設」については、すぐに設置しないと市役所の方で煮詰まってしまうので、すぐに設置するという考え方が良いのではないかと思う。
事務局	これについては喫緊の課題と考えている。5年後までには達成すべき目標としている。ただし、しくみが大事であり、ただ集まって話をして頂くだけではなく、市に建設的な意見を頂ける組織としていくことが必要ではないかと考えており、その点のしくみも事務局なりに考えていかなければならないため、今日明日にすぐに設置するというのは難しい。何時ということとは約束できないが、できる限り早い段階で設置したいと考えている。
会長	すでにこの総合計画策定に際しても市民が参加していることから、もう始まっているとも考えられる。できるかぎり早い時期に設置をしていくことを考えて頂きたい。
委員	そういったことを文章として入れないと意味がないのではないか。計画に常に市民の視線が入っていないと、構想そのものが不確かなものになってしまうのではないかと思う。
会長 委員	文章として表現するかどうかも含め事務局で検討頂きたい。 基本構想の 15 頁に「自律」が使用されているが、「自立」ではなく「自律」を使用するのか。
事務局 委員	これは、あえて自分で律するということから「自律」を使用している。 基本計画の 2～3 頁に「Action」から「Act」に修正しているが、3 頁の図の中は「Action」となっているので、修正されたい。
委員	基本構想の 15 頁は、蓮をイメージした図で表現されているが、第二京阪道路ができるなど、蓮根畑も減っていくのではないかと思う。この部分は、市の羅針盤となる重要な部分であり、10 年後の姿を表すものとして私個人としてはどうかと思う。
委員	検討課題の「文章表現」でわかりやすくということがあるが、まだ、修飾語や「、」などを多用され、文章が長いものなどがあり、わかりにくい部分がある。 例えば、基本計画の 15 頁に「生きる力を育む」の「基礎的学力の向上、創造性や社会性を育む子どもへの教育力を高め、生きる力を育てていきます。」というところがわからない。また、「持続可能な都市経営」の「…苦労を分かち合い、ともに喜ぶことができるよう、市民参加と協働を核とした持続可能な都市経営の取り組みを推進していきます。」は、取り組みを推進していくのではなく、持続可能な都市経営を推進していくのではないかと思う。折角、わかりやすく表になっているので、表現もわかりやすくした方がよいのではないかと思う。

会長	意見として受け止めたいと思う。概要版にも出てくると思うが、概要版ではもっと端的に表現できるよう工夫して頂きたい。
委員	基本計画の15頁などは、半分くらいの文字数で表現できるかと思う。
会長	「わかりやすく」という基本をもとに、事務局に案を出して頂きたいと思う。
委員	絵画作成の依頼について中高生の参加はあるが、小学生はいれないのか。
事務局	小学生については、「門真の未来子ども会議」において作文提出と会議という形で参加して頂いた。中高生については、未来の門真について作文を募集したが、応募がなく、その世代の参加を埋めるため、中高生に絵を描いて参加を頂こうと考えている。
委員	小学生の参加も得たが、折角、意見を出してもらったのに、この総合計画づくりに参加したということがわからないので、小学生の継続的な参加も必要と思うので、是非、小学生の参加も入れてほしい。
会長	小学生も「門真の未来子ども会議」に参加し、この総合計画づくりに参加したが、視覚に訴えるということでは、小学生には負担も大きいかと思う。全ての絵や図を入れることができないため、小学生と高校生が絵や図をもってきたとき、その表現にレベル差があることから、アンバランスになることも考えられる。その点は工夫して頂きたい。

案件3. パブリックコメントの概要について

◇事務局から「パブリックコメントの概要」について説明

(本案及び総合計画(案)全般に関する意見)

発言者	内 容
委員	もっともな意見もあるが、市民としての当事者意識が欠けているようにも思う。この市が気に入らないのであれば、引っ越しをしようというのではなく、例えば市民会議に参加するなどして、まちを良くしようと、まちづくりに参加する意識が必要ではないかと思う。また、記載者がきちっと参政権を行使し、パブリックコメントに議員についての意見を書かれているのかどうか。
委員	このとおりだと思う。これからこのような意見のある方に出てきて、参加を頂いて、この構想をきちっとしたものにしてはと思う。
委員	回答に際しては、市民会議などの開催を案内して、是非、今後開催される場合には、参加を頂くようにしてはどうかと思う。
会長	パブリックコメントの取り扱いは、どうなるのか。
事務局	ホームページと情報コーナーにおいて公表をする。
委員	市民は結構思い込みのようなこともある。その思い込みがみんな話をしたときに、どの程度のものか、みんなが賛成なのかが分かる。そうすれば、なかなか難しいことだと新たに気付くこともある。
委員	パブリックコメントは、計画案を一般の市民の方がみて、どう思ったかという意見収集を期待して行っていると考えている。提出した人の誤解などもある場合もあると思う。しかし、提出した人の当事者意識が欠けているのかとも思うが、意見を言った人だけが当事者意識を求められるのかといえば、そうではないと思う。意見を書いた人は、かなりエネルギーを費やして書かれたと思うので、回答できることはできるかぎり誠実に回答をすべきだと考えている。
委員	ホームページでよく他のパブリックコメントの状況もみているが、これだけの件数が提出されたものは少ないのではないかと思う。読んで頂いているということなので、良いことではないかと思う。

会長	読んで頂いているということなので、市民の民度も高まっていると前向きに捉え、これら提出された意見を踏まえ、私たちもさらに真剣に議論をしていかなければならないと思う。
委員	基本構想の10頁に「…他市へ引っ越したいと思っている“通過都市（仮住まい的な都市）”になっています。」と断定的な表現で修正されているが、そこまで断定的にする必要はないと思う。門真市に愛着を持っている人もたくさんいると思うので、そのような傾向があると表現した方が良いと思う。
委員	以前に学校適正配置審議会に参加した時、パブリックコメントに向けた答申案づくりでは、非常に苦しんだあげくに出した案に対して、このようにポンと意見を出されると悲しくなってくる。 学校の統廃合に際して学校が無くなると、学校から一定の範囲で出店規制などがある施設の規制が解除されるということも視野に入れ、回避をする方法なども統廃合に際して考慮していくことが大切ではないかと考えている。
会長	環境基準においても、学校や病院など特に静音などを要する施設があるところは、厳しい基準となっている。学校や病院などが無くなると騒音の基準が緩くなり、相対的に環境の悪化にも結びつくことも考えられる。その件については、行政において慎重に、工夫して行って頂きたい。 学校適正配置審議会において、学校の空き地が出て、その跡地についてはむやみに売却をしないでほしいという歯止めをかける議論をされていたと思うが、その点もきっちり守って頂きたい。良いまちづくりをしていくためにはそのような配慮をしてほしい。
委員	学校適正配置審議会の答申が出され、現在、教育委員会の方で適正配置の実施方針が示された。議会も含め市民としては、通学の時間や距離など、まだまだ皆さんの意見があると考えられる。その部会には入っていなかったが、市民の意見を十分に聞いた中で方向性が打ち出されていくべきだと思っている。この中ではどのように位置づけられているのか、どう考えているのか。
事務局	企画課として答えられる範囲はあるが、学校適正配置に限らず、市民の声を市政に活かしながら、施策展開を図っていくというのが職員としての務めであると考えている。審議会は、市長の諮問機関として専門的な見地からの意見を頂くことを目的に設置しており、学校の適正配置に限らず、審議会の意見を尊重しながら、かつ、市民の意見を聞きながら、より良い方向での施策展開をしていくべきと考えている。
会長	総合計画は、市の施策展開の最上位計画であり、それぞれの計画は、この指針にしたがい行うということであり、いろいろと実施段階においては、選択と集中といった課題なども踏まえながら、行政の方できっちりと組み立てて頂き、そこに市民の目があるという形になるかと思う。教育については、部会で慎重に審議を頂き、かつ、かなり手を加え修正を頂いたと考えている。
委員	パブリックコメントで頂いた意見に直接反応するという意味ではないが、この審議会の開催過程において社会全体で政権が交代するという節目を迎えたということがある。特に、これからわが国においてどのように地方自治の基盤が構築されていくのか、この計画の策定段階では見えないという不確定要素があるので、自治の方向に進むというような外部環境が整った際に、柔軟に対応していくという前提をしっかりと記載していくということも一つの方法ではないかと思う。パブリックコメントの意見にもあったように、過去の第1次～4次の経緯と成果を付け加えることはもっともであると思う。以上の2点を付け加えることにより、私の知る限りでは、これまでの総合計画でここまで書き込んだも

会長	のは見受けられないので、先駆的な意味も含めて対応を考えて頂ければと思う。この審議会では第4次総合計画の概要と達成の状況について説明されたが、パブリックコメントに際して市民には提示されていない。概要をもっと簡潔にしたものをどこかにいれるなど、少なくともコメント頂いた市民には返して頂くという手続きは、省くことはできないのではないかと思います。
委員	基本構想を実現するために基本計画があると思っているが、基本構想と基本計画の関連性が分からない。 基本構想の14頁に「元気」とあり、他にも「元気」がたくさん出てくるが、元気でない、しんどい人もたくさんいるので、「元気」ばかりでなく、「活力」とか「活気」という形にしてはどうかと思った。 21頁からの基本目標の説明について、一番目立たしたいのは、「基本目標」のタイトルではないかと思うが、目立っているのは、「施策展開の基本的な方向」であると思うので、「基本目標」が目立つように工夫してほしい。
会長	「基本目標」が目立つような工夫についてはよろしく願います。また、ただ今の意見にあった「元気」について、部会での発言でも同様に、「元気」ということが前に出て、元気でない人は人間扱いされていないのではという感覚で捉えたが、それについては「支え合いのまち」において、元気な人も元気でない人もみんなで支え合おうではないかということにしており、そのようなことでいかがだろうか。
委員	子どものことについても、元気で明るくがんばれる子というのは良いが、おとなしく、ひ弱で、がんばれない子もおり、そういう子も大事であるということを表現して頂ければと思う。
委員 会長	しんどく、元気でない人も、元気になろうではないかということだと思う。 基本構想と基本計画の関連性が分からないという意見があったが、こういう考えでいるということを説明してほしい。
事務局	基本構想は、社会潮流や課題などを踏まえ、将来どのような門真になったら良いのか、全体の方向性を示している。さらにその将来の姿を実現するために、6つの基本目標を掲げ、施策を展開していくということを記載している。この基本目標を達成するために何をすべきかを、6つの基本目標に対応させ、基本計画各論の第1章から第6章に、どのような指標で以て達成するのか、そのための施策の展開はどうあるべきかを主眼において作成している。
会長 委員	その点について、概要版では理解しやすいようにしてほしい。 基本計画の15頁の「オンリーワン」について抽象的で意味が分かりにくいのではないかと思う。「門真らしい」という言い方でも良いかと思うが、「門真市はオンリーワン」ということであれば、あまりにも厚かましいのではないかと思う。「市民一人ひとりが」がオンリーワンで、オンリーワンのみんながつくる門真市ということであれば、そのような内容を記載すれば理解できるのではないかと思った。
事務局	ここでの「オンリーワン」は、「一人ひとり」という意味で使用しているのではなく、まちづくりのハード整備を重点課題の一つとし、「オンリーワンのまちづくり」を掲げた。市がこれから都市イメージをあげていくために、北西部まちづくり整備ゾーンにおいて、市民が誇りに感じる顔づくりを進めていきたいという意味で使用している。
委員 事務局	何が「オンリーワン」なのか。 例えば、駅を降りたときに、ぱっとみてこれが門真だと分かる特色を持った顔を創る都市基盤整備を「オンリーワン」として使用している。

委員	市民の対象が注書きで加えられているが、誰が市民かもう少しはっきりと明示してほしい。
会長	達成状況を知る指標として「透明性の向上」というのがないが「第1章～市民と市役所みんなで育む協働のまち～」の「第2節 市民に信頼され、協働まちづくりを先導する市役所をつくります」に加えてほしい。 子どもを産んでからの施策はいろいろと書いてあるが、周産期のことについてふれているところがない。妊娠、出産に関する医療の充実がいるのではないか。基本計画の38頁の指標に使用されている「青少年の主張」の参加率の母数が何かを知りたい。基本計画の41頁の指標に使用されている「小・中学校普通教室電子黒板（機能）配置学年数」の電子黒板については無しになるのか。
委員	「オンリーワン」というところは、重点課題のところでもあり、議論を深めた方がよいと考えている。この「オンリーワン」という言葉を変更すれば、全体を通していびつになることがあるか。
事務局	この総合計画だけを捉えれば、「オンリーワン」という言葉を置き換えることは可能かと思うが、第1回の審議会で策定方法等について説明をさせて頂いたときに、今回の総合計画の策定は、第4次総合計画と第5次総合計画の間に「都市ビジョン」があり、「都市ビジョン」は、総合計画でも特に重点的に施策展開を図りたいという重点施策集として取り扱っていることを説明させて頂いた。この「都市ビジョン」をもとに、現在、「オンリーワンの顔づくり」を進めてきており、その整合を保つために、「オンリーワンのまちづくり」という言葉を使用し、連続性が分かるようにとの思いをもっている。
委員	「オンリーワン」という言葉は、どのようなことか誰でも説明を求めたくなる言葉である。市民が共有できるイメージがもてるよう、「誇りある」などタイトルを置き換えてもよいのではないかと思う。
委員	これまでの門真は特徴のないまちとしてみられてきたと思う。門真という良いイメージを植え付ける動機として「オンリーワン」を強調する必要があるのかと思う。「誇りある」としてしまうと、あえて門真の独自性を出していないようなレベルになってしまうのではないか。「誇りある」ということも含め、「オンリーワン」を強調する必要があると思う。
委員	そうであれば、「オンリーワンのまちづくり」の中にもう一言入れれば、分かりやすくなるのではないか。
委員	「オンリーワン」はすごく良い言葉だと思うが、これは理念的なことでもあるので、みんなが違う受け取り方をするといけない。同じ意味で受け取れるようにすることが必要であると思う。
委員	独自性をもった前向きな姿勢の都市であるということが大切であり、「誇り…」としても、何を誇るのかという同じ議論になるかと思う。
委員	市民が誇りを持つための手段が「オンリーワン」であると思う。もう一言加えることにより、市民には何か「オンリーワン」を持ったまちにしたいということが伝わるのではないか。
委員	事務局の説明では、「都市ビジョン」と総合計画の関係で、「オンリーワン」という言葉を使用しているということであるので、「都市ビジョン」を踏襲することから、「オンリーワン」の意味は都市ビジョンからきているということを付記することにより、継続性を保つことができると思う。そこまでしてでも

	<p>継続性を重視したいという事務局の考え方かどうかであると思う。</p>
会長	<p>「都市ビジョン」においても「オンリーワン」という言葉の意味の説明が不足しており、市民に行きわたっていないと思う。これについては、「オンリーワン」という言葉を別の言葉に置き換える方法と、「オンリーワン」を活かして「オンリーワン」の意味の説明を付記するか、2つの修正方法が提案できる。それに関連して、会議の最後に言う予定であったが、総合計画書の最後に参考文献、あるいは参考資料の頁を設け、その中に「都市ビジョン」を入れておけばよいのではないかと考えている。</p>
委員	<p>「オンリーワンのまちづくり」のタイトルと中味の説明に少しずれがあるのではないかと思う。「オンリーワン」には2つの意味があるのではないかと考えている。一つは、「ナンバーワン」という意味で「らしさ」や「個性」を求めましょうということと、もう一つは、「他に例がない」という意味で「門真ならではの」、「門真でこそできた」という2つがあると思う。説明の中には、「市民が誇りに感じるまちづくり」は、少しずれがあると思う。たった一つのまちづくりだからこそ結果として誇りが出てくるのであり、最初から誇りを求めているのではないと思う。「門真らしい」、「独自の」などのキーワードをコメントの中に入れて、言葉と内容の整合性や繋がりがでてくるのではないかと思う。</p>
委員	<p>「オンリーワン」という言葉は、説明文章とずれがあり、誇りとは違い、もっと前向きなイメージが入っている。これまで門真市が行ってきた連続性の中で考えるなら、説明は*で付記するか、説明文の中に先ほど提案のあった内容を入れたらよいのではないかと思う。ただ、このタイトルについては、パブリックコメントに出しているということもあり、変えるのはいかがかと思う。それは、重点的に取り組む視点という一番もとのところの言葉を変えて、もし、イメージが変わったとすれば、パブリックコメントの扱いがいかかなものかということになる。スタート時点に戻る可能性があるので、中味の説明などは、市民の意見などもあり、変えてもよいと思うが、この「オンリーワンのまちづくり」というタイトルでいった方がよいと思う。</p>
会長 委員	<p>大黒柱になる言葉を変えるのは、大きな作業であるという意見だったと思う。今の件については、スローガンと内容を一致させるということでは、単純に「特色あるまちの顔をつくる」ということを書いておけばよいのではないかと考えている。パブリックコメントに出しているということに変えられないということであれば、中味の説明をし直すということになるだろうと思う。</p>
会長	<p>他の人からみれば門真ほどよいところはないと言う人がたくさんいる。それは、まちなかが平坦、コンパクトであるとか、この中味の説明の中に出てきており、それらは、オンリーワンのものだと思う。門真の独自性は平坦でコンパクトで、しかも都心から近く、市内にはないものの、近くには大きな公園があるなど、それなりに施設もある。また、鉄道も早朝から深夜まであり、このような便利なまちは世界でも数少ないと思う。</p>
委員	<p>平坦やコンパクトというのは具体的な立地条件であり、後の文章は精神的なものになっている。立地条件から精神的なものにもってくる整合性が必要ではないかと思う。誇りに思うのは立地条件しかないのだろうか。</p>
会長	<p>ソフト面と合わせた両輪が必要である。総合計画はこれからめざし、創るものである。</p>

委員	文化について、現状6つというようなことが書いてあって、現状は何と何となんだらう。本当に大事にしていない。茨田の堤はうらびれており、バッテリーも移設されたが、まっさらのバッテリーをコンクリートの水路にど〜んと置いてある。もう少し、大事にしてほしいと思う。そのようなものを大事にしなければ、誇りももてないと思う。立地条件だけでは誇りがもてない。
会長	いろいろな視点から意見はあると思う。もし、意見があるならば、事務局に提案を早急に伝えて頂き、その提案について、会長、副会長、部会長で相談し、次回の審議会に諮りたいと考えている。できるかぎり「オンリーワン」という言葉を使用する形で、かつ、誰が読んでも分かるような表現方法にするという方向で、委員みなさんの具体的な意見を頂きたいと思う。
委員	「都市ビジョン」については、インターネットで公表をしており、昨年、他の市の議員が勉強に来られた。そのくらい有名であり、「都市ビジョン」は、周知の面では、すでに成功しているのではないかと考えている。
会長	「都市ビジョン」も門真市の財産である。若い元気な職員もいっぱいおられるので、是非、これを活かした形で、取りまとめて頂きたいと思う。
委員	基本構想の2～3頁について、部会の中でも申し上げたが、学校づくりに関して、優れたリーダーシップのある管理職と指導力のある能力の高い教員がたくさん集まれば、良い学校ができると言われているが、これからの学校は、良い校長と良い教員がいても、学校は良くなるまいという持論としてもっている。立地している地域のみなさんや保護者が学校に何とかしてくださいではなくて、良い学校にしていくために、こういうことをするよと中に入って、参画をし、学校づくりに地域住民も参画していかないと、本当に良い学校というものではないのではないかと考えている。
	そういうことから、少なくとも2頁の「…このような背景を踏まえ、みんなが夢見る門真の未来像を共有し、その実現に向け「自分たちのまち自分たちでつくり、育てる」という…」の部分は、行政や管理者が一生懸命にまちづくりをするのではなく、地域住民が参画をして、まちづくりの主体者として担っていくかということが住民自治の基本であると思う。しかし、その後の文章では「それを出発点として、…」と書かれており、この計画づくりに参画してもらったという記述になっている。
	3頁では、「この総合計画に示す目標はみんなの夢です。」と突然、みんなの夢になってしまっている。呼びかけの文章が馴染むかどうかの危惧はあるが、「みんなの夢にしてほしい。」というような呼びかけにしてはと思う。この市民も参画して一生懸命つくった計画をみんなの夢にしてほしい。そして、それぞれの立場でこの夢の実現のためにみんな努力をしてほしいという呼びかけをすべきではないかと思う。1の先ほど申し上げたところは2のところ、「自分たちのまち自分たちでつくり、育てる」という観点でみんなの夢にしたい。そして、みんなの力でこれを実現したいという呼びかけをしてはどうかと思う。そういったニュアンスを少しでも盛り込めないかと思う。
会長 委員	端的に言えば「やろうやないか」「Do it」ということではないかと思う。パブリックコメントの話に戻ってしまうが、いろいろ手厳しいことが書かれていたが、全体を見渡して言えることは、今回の第5次の計画がこれまでの過去の反省にたつて、やっているのかどうかということにつきると思う。基本構想の2～3頁において、これまでの計画と一体何が違うのか、何が新しいのかを最初に明確に示す必要があると思う。実際にこれまでのものとは違うプロセス

	<p>を踏んでいるので、とりわけ2頁に市民がどのような形で参加したか記載されているが、これをもっと強調する形にすれば「市民と市役所みんなで作くり、みんなで共有する計画」というタイトルにも繋がってくる。最後には先ほど発言があった呼びかけに繋げていき、これまでの計画づくりとは違う、ここは新しいのだということを強調することによって、パブリックコメントにも一定程度応えられるものとなるのではないかと思う。</p> <p>基本構想の10頁の件であるが、通過都市になっているという断定はしないという意見があり、その意見に賛成である。タイトルが「通過都市から定住都市へ」となっており、これでは通過都市になってしまっているので、「通過都市ではなく、定住都市へ」とすべきではないかと思う。</p>
委員	<p>パブリックコメントをみていると事実に基づかない意見もかなり見受けられる。これら事実に基づかない意見については、こういうことはこうですといった具体的な説明を返すことが必要ではないかと思う。</p>
委員	<p>パブリックコメントの中で「食育」とか「学校と地域と家庭」とかは、今回の案には説明されているものの、微妙なところもある。これら2点については「案」で書こうとしている内容でもあり、単語で抜けているようなところをうまく入れて頂ければと思う。意見書では一般的に使用されている言葉が使用されているので、少し検討をお願いしたい。</p>
委員	<p>市民の市政に対する関心を高めていくためには、例えば、年に数回でも市議会の開催を市民が参加しやすい夜間や休日にしてはどうかと提案したい。</p>
委員	<p>議会や委員会などを夜間に行っている他の国の事例などもある。今の提案については、全員参加といった場合には、そのような方法の導入も必要になってくる。</p> <p>本日の審議会で言い切れなかった意見については、早急に事務局にお伝え願いたい。これで、本日の審議会を終了する。</p>

案件3. その他について

◇事務局から次回第6回審議会を11月2日(月)午後4時から第2会議室において開催することについて説明

閉会(会長)